

地域・学校・家庭の「環」を活かして

福井市社北小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域・学校協議会における協議内容

第1回（5月25日開催）

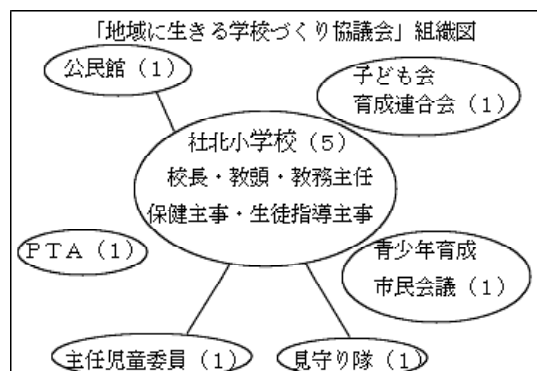
- ・本年度の学校状況について
- ・スクールプランについて

第2回（10月28日開催）

- ・授業参観と意見・感想について

第3回（3月2日開催）

- ・学校評価について
- ・社五校の取り組みについて



(2) 地域と連携とした特色ある活動

①アルミ缶回収活動 ～社北環境町づくり運動～

社北地区では社北環境町づくり運動を推進しており、公民館や児童館などにアルミ缶回収ボックスを設置している。地域から集まったアルミ缶は、毎月20日の朝に学校へ運ばれ、子どもたちが各家庭から持ち寄ったアルミ缶とともに児童玄関前で回収している。回収したアルミ缶は児童会が管理し、月毎に回収数を集計をしている。この他に、ペットボトルキャップ回収も行い、今年度は地域の環境活動のシンボルとして、学校や地域で集めたペットボトルのふたを使って「エコキャップアート」を運営・学園委員会の5・6年生が約2ヶ月かけて作り上げた。



②「友情田」での米作り ～東大寺お米送り～



友情田での米作りは、社北地区がかつて道守庄と呼ばれ奈良東大寺の荘園としてお米を送っていた頃の歴史を後世に伝えようと社北まちづくり運動の一環として行われている。学校に隣接した友情田で、5年生が地域の方々とともに植えた苗はすくすく育ち、9月には稲刈りをし、収穫したお米は、10月に地域の方々の手で東大寺に奉納された。

③ニコニコ連絡会 ～見守り隊の方々との交流～

見守り隊の方々とは交流するニコニコ連絡会を年3回実施している。見守り隊の方々と一緒に教室で給食を食べ、休み時間の遊びを楽しんだり、集会で見守り隊の皆様のお話を聞いたりして交流を深めた。定期的に交流することで、地域の方々への感謝の気持ちを育み、安全意識を高めたいと考えている。



2 成果のまとめと課題

(1) 成果について

- 友情田の米作りやアルミ缶・エコキャップ運動、見守り隊の方々との交流会（ニコニコ連絡会）などの地域と連携した取り組みや、地域について学ぶ活動を進める中で、子どもたちに社北地区の素晴らしさを感じ取らせることができた。
- 地域のゲストティチャーを活用する事が増え、児童に多様な体験を味わわせることができた。
- 地域・学校協議会等で情報交換をする中で、学校と地域の取り組みについてお互いの理解が深まった。

(2) 課題および次年度に向けて

- 社地区5校の取り組み内容について家庭・地域への啓発を強化し、子どもたちが家庭・地域の中で具体的に変容する姿の見られる地域連携を強化する。

